



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

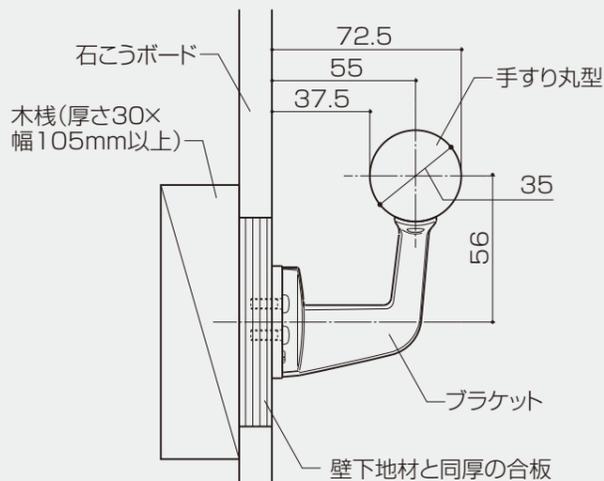
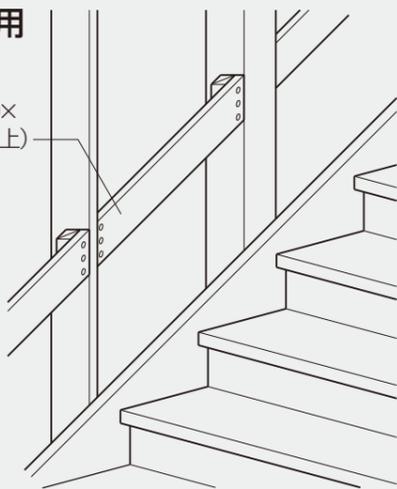
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

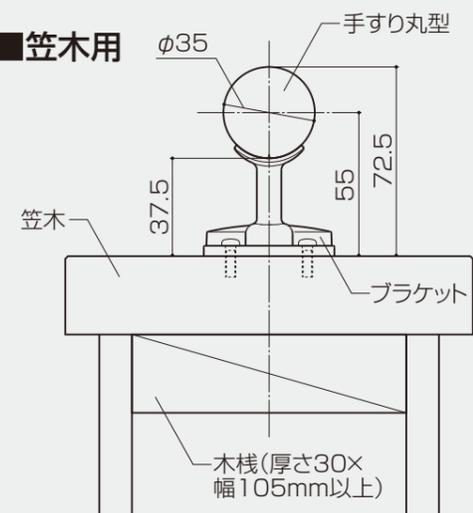
- 手すり脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・ブラケット取付け用の木棧(厚さ30mm×幅105mm以上)か間柱を使用し、壁下地材と同厚の合板を取付けてください。石こうボードの下地材に直接ブラケットを取付けることは、強度不足のためしないでください。
 - ・木棧は柱又は間柱に固定してください。
 - ・ブラケットベース・エンドベースは柱・間柱などの構造材に取付けてください。石こうボードの下地材にブラケットベースを取付けることは、強度不足のためしないでください。
 - ・金具の壁への固定・手すり丸型の取付けには必ず同梱のねじを使用してください。
 - ・接続金具Ⅲ型を直線部に使用する場合は、ブラケット間隔900mm以内に1個を、ブラケットより60mm以内に取付けてください。
 - ・フレキシブルジョイントⅢ型を使用する場合は、フレキシブルジョイントⅢ型の端部より60mm以内にブラケットを取付け、さらにブラケットから900mm以内にもう1つブラケットを取付けてください。
 - ・手すり丸型はフレキシブルジョイントⅢ型、90°コーナブラケットⅢ型、T字型ジョイントⅢ型、エンドエルボⅢ型、エンドベースⅢ型、接続金具Ⅲ型、後付用エンドブラケットⅢ型の奥まで差込んで固定してください。
 - ・当製品は室内用です。水がかかったり極端に高湿なところでは、腐ったり材割れを起こし、取付け強度が低下するため、使用しないでください。
 - ・手すり丸型、曲線部材、ブラケットベースには指定の下穴をあけてください。材割れ・取付け強度不足の原因となります。

■壁付け用

木棧(厚さ30×幅105mm以上)



■笠木用



■取付け上のお願い

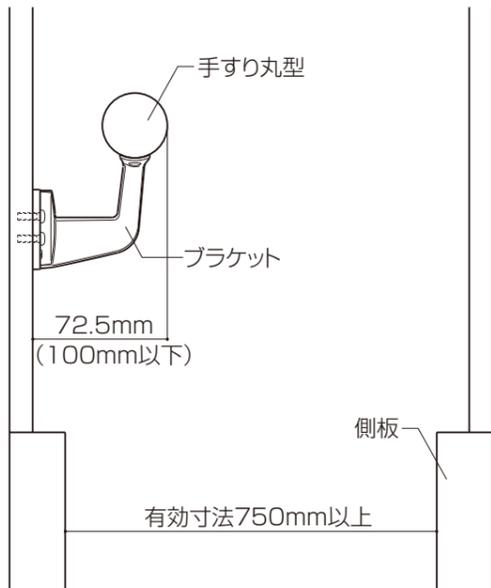
- 木棧を取付ける場合は、使用される方の手すり高さ(踏板の先から手すり上端まで)に合うよう、検討して取付けてください。
- 納品時に、各部材を必ず検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前に、お買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・木理具合・キズなどによる交換はできません。)
- 運搬・加工の際は、キズを付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 手すり部材は乾燥しており、カビ・シミはありません。万一水がかかった場合は、すぐに乾いた布などでふき、乾燥させてから養生してください。部材のふくれ・割れ・シミなどの原因になります。
- クロスを張る際、手すりを着脱する場合は、必ず手すりを着脱する人にこの取付け説明書をお渡しください。
- 手すり丸型の切断面は必ず垂直にしてください。下記の金具がまっすぐに取付けられなくなったり、着脱できなかつたり、接着不良の原因になります。

【該当部品】…手すり丸型キャップ、フレキシブルジョイントⅢ型、90°コーナジョイントⅢ型、T字型ジョイントⅢ型、エンドエルボⅢ型、エンドベースⅢ型、接続金具Ⅲ型、後付用エンドブラケットⅢ型

■手すりの設置位置

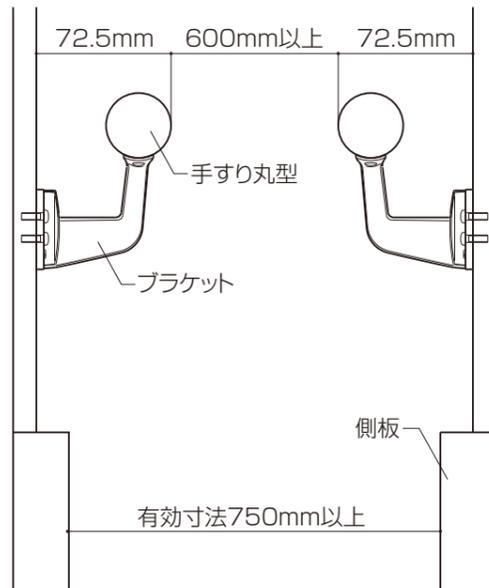
①片側に手すりを設置する場合

※手すりの幅が100mm以内であれば、階段有効幅に関係しません。

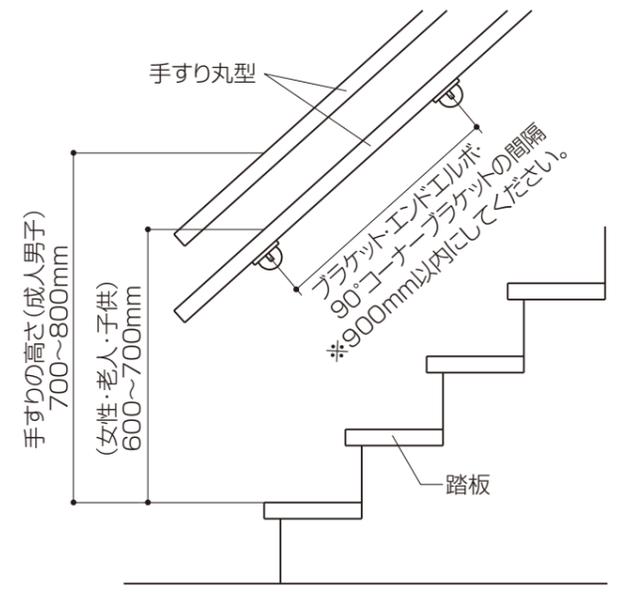


②両側に手すりを設置する場合

※手すりの突端間が600mm以上必要となります。



③手すりの高さ位置



■部品・部材の明細

手すり丸型	曲線部材90°	曲線部材60°	曲線部材L型	手すり丸型キャップ
<p>※同梱…取付け説明書(1部)</p>	<p>※同梱…接続金具Ⅲ型(2個) (ねじ同梱)</p>	<p>※同梱…接続金具Ⅲ型(2個) (ねじ同梱)</p>	<p>※同梱…接続金具Ⅲ型(2個) (ねじ同梱)</p>	<p>※2個入り</p>
フレキシブルジョイントⅢ型	90°コーナーブラケットⅢ型	T字型ジョイントⅢ型	エンドエルボⅢ型	エンドベースⅢ型
<p>使用可能範囲 90°~180°</p> <p>※同梱…丸皿タッピンねじφ3×16 (4本)</p>	<p>※同梱…皿タッピン先割れねじ φ4×50(4本) ナベタッピン先割れねじ φ3×25(4本)</p>	<p>※同梱…丸皿タッピン先割れねじ φ3×20(2本)</p>	<p>※同梱…皿タッピン先割れねじ φ4×50(4本) ナベタッピン先割れねじ φ3×25(2本)</p>	<p>※同梱…丸皿タッピンねじ φ3.5×40(2本) バインドタッピンねじ φ3×20(2本)</p>
ブラケット壁付用Ⅲ型	ブラケットスイングタイプⅢ型	ブラケット笠木用Ⅲ型	接続金具Ⅲ型	後付用エンドブラケットⅢ型
<p>※同梱…皿タッピン先割れねじ φ4×50(2本) 丸皿タッピン先割れねじ φ3×20(2本)</p>	<p>※同梱…皿タッピン先割れねじ φ4×50(2本) 丸皿タッピン先割れねじ φ3×20(2本)</p>	<p>※同梱…皿タッピン先割れねじ φ4×50(2本) 丸皿タッピン先割れねじ φ3×20(2本)</p>	<p>※同梱…皿タッピン先割れねじ φ3×25(6本)</p>	<p>※同梱…ナベタッピン先割れねじ φ4×40(4本) ナベタッピン先割れねじ φ3×25(3本)</p>
後付用ブラケットⅢ型	L型セット	後付用I(アイ)型セット	後付用L型セット	ブラケットベース
<p>※同梱…ナベタッピン先割れねじ φ4×40(4本) 丸皿タッピン先割れねじ φ3×20(2本)</p>	<p>●梱包明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 手すり丸型 L=469(2本) エンドエルボ(2個)(ねじ同梱) 90°コーナーブラケット(1個) (ねじ同梱) 取付け説明書(1部) 	<p>●梱包明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 手すり丸型 L=437(1本) エンドエルボ(2個)(ねじ同梱) ブラケットベース L=1300(1本) ブラケットベース専用小口材(2個) ねじセット (皿タッピンねじφ5.1×75(8本)、 ねじ頭キャップ(8個)) 取付け説明書(1部) 	<p>●梱包明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 手すり丸型 L=469(2本) エンドエルボ(2個)(ねじ同梱) 90°コーナーブラケット(1個) ブラケットベース L=1300(2本) ブラケットベース専用小口材(3個) ねじセット (皿タッピンねじφ5.1×75(8本)、 ねじ頭キャップ(8個)) 取付け説明書(1部) 	<p>※同梱…皿タッピンねじφ5.1×75 (30本) ねじ頭キャップ(30個)</p>
I(アイ)型セット	コーナー用セット			ブラケットベース専用小口材
<p>●梱包明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 手すり丸型 L=437(1本) エンドエルボ(2個)(ねじ同梱) 取付け説明書(1部) 	<p>●梱包明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 手すり丸型 L=874(1本) 後付用エンドブラケット(2個) (ねじ同梱) 取付け説明書(1部) 			

■セット品について

- 施工前に各部品・部材を検品してください。(各部品の取付けは、「■取付け詳細」に従ってください。)
- ※ブラケットベースは、現場寸法に合わせて切断してください。
- ※手すり丸型は下図寸法となるようにあらかじめ切断されていますので、現場での切断は不要です。

I(アイ)型(後付用I(アイ)型)	L型(後付用L型)	コーナー用

■取付け手順

- 1 ブラケットⅢ型・手すり丸型の取付け
- 2 ブラケットⅢ型の着脱
- 3 フレキシブルジョイントⅢ型の取付け
- 4 フレキシブルジョイントⅢ型の着脱
- 5 エンドエルボⅢ型の取付け
- 6 エンドエルボⅢ型の着脱
- 7 接続金具Ⅲ型の取付け
- 8 接続金具Ⅲ型の着脱
- 9 90°コーナーブラケットⅢ型の取付け
- 10 90°コーナーブラケットⅢ型の着脱
- 11 エンドベースⅢ型の取付け
- 12 T字型ジョイントⅢ型の取付け
- 13 ブラケットベースの取付け
- 14 後付用ブラケットⅢ型・後付用エンドブラケットⅢ型の取付け
- 15 手すり丸型キャップの取付け
- 16 施工後の確認

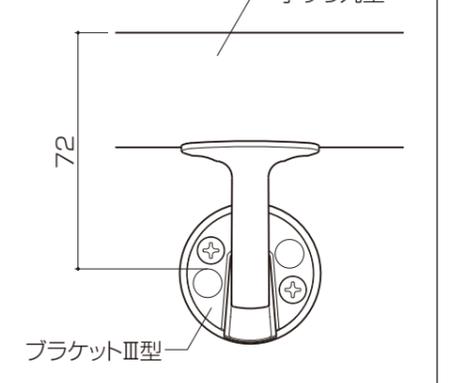
■取付け詳細

1 ブラケットⅢ型・手すり丸型の取付け (壁付用Ⅲ型・スイングタイプⅢ型・笠木用Ⅲ型)

※笠木用Ⅲ型の取付けは、先に手すり丸型をブラケットに取付けてから笠木に取付けます。笠木にブラケットを固定する際、手すり丸型にねじが当たらないよう、同梱の皿タッピン先割れねじφ4×50(2本)を斜め打ちし、固定します。(施工手順:①②③⑤⑥④⑦)

- ①実際の使用に合わせ、手すりの設置高さを決めます。
- ②手すり設置高さより、ブラケットの高さを決めます。
- ③下地材・接続部材・曲線部材・手すり丸型長さより、ブラケットの横位置を決めます。
- ④同梱の皿タッピン先割れねじφ4×50(2本)でブラケット本体を壁に取付けます。
- ⑤ブラケットの手すり丸型取付け穴に合わせて、手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけます。
- ⑥同梱の丸皿タッピン先割れねじφ3×20(2本)で、手すり丸型をブラケットに取付けます。
- ⑦ねじ隠しカバーをブラケット本体にはめこみます。

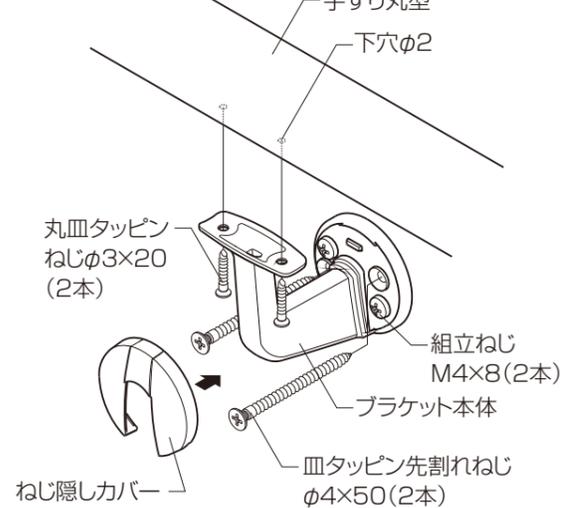
■取付け詳細図



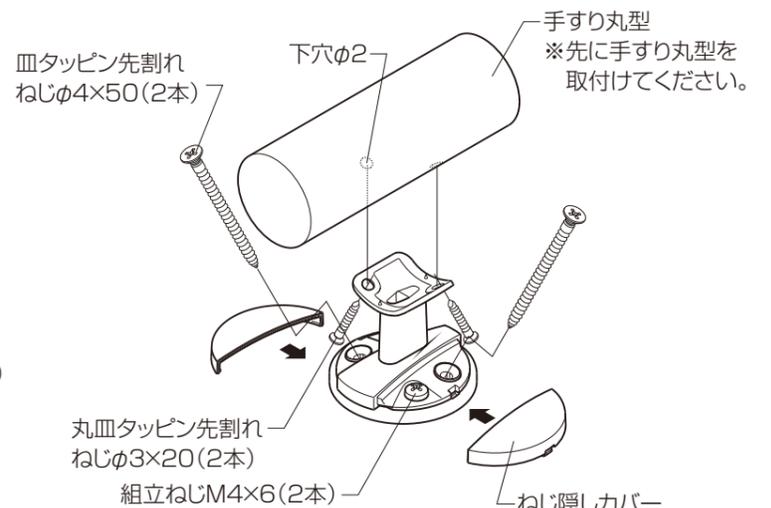
▲注意

- 手すり丸型には、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

■壁付用



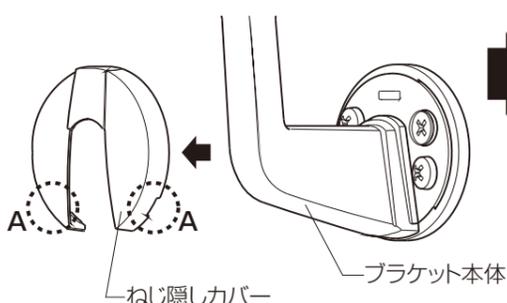
■笠木用



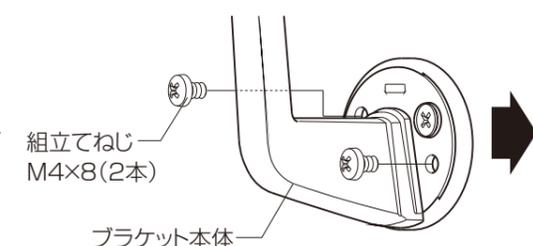
2 ブラケットⅢ型の着脱

■取外し方法

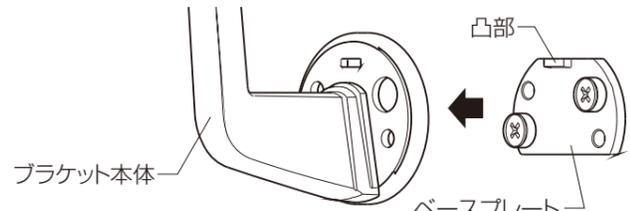
- ①ねじ隠しカバーを取外します。
※下図Aの凹部にマイナスドライバーを差込み、ひねると容易に外せます。



- ②組立てねじをドライバーで取外します。

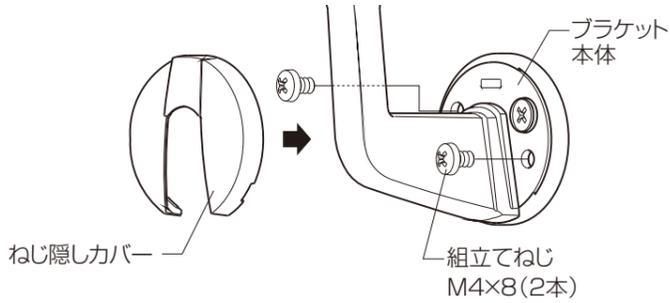


- ③手すり全体を手前にまっすぐ引き、外します。クロス張付け後は、ベースプレートの凸部に合わせ、ブラケット本体を差込みます。
※壁にクロスを張る際、ベースプレートを目安にクロスに切れ目を入れ、ベースプレート部分のクロスを切り取ります。
※ベースプレートの周囲2~3mmはブラケット本体で隠れます。

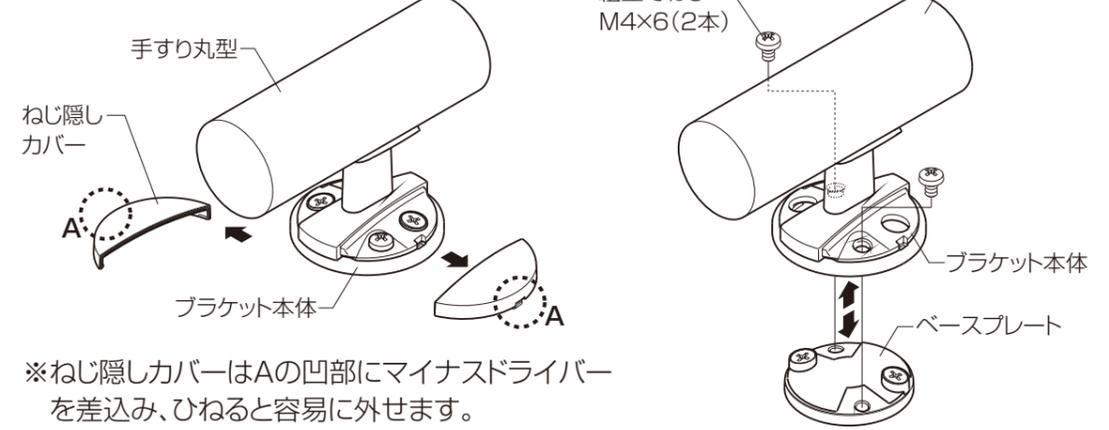


■取付け方法

- ①組立てねじでベースプレートにブラケット本体を固定します。
※必ずドライバーで組立てねじを締めてください。
- ②ねじ隠しカバーをブラケット本体に取付けます。

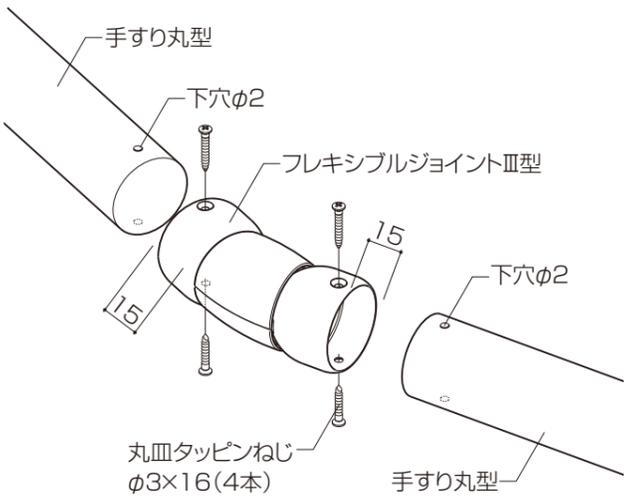


■笠木用の場合の着脱



3 フレキシブルジョイントⅢ型の取付け

- ①フレキシブルジョイントの差込み口に手すり丸型が15mm入ること、又、壁から手すり丸型中心までの距離が55mmとなることを見込んで、手すり丸型を切断します。
- ②フレキシブルジョイントの手すり固定穴に合わせ、手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけ、同梱の丸皿タッピンねじφ3×16(2本)で片方の手すり丸型を固定します。
- ③もう片側の手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけ、同梱の丸皿タッピンねじφ3×16(2本)で固定します。
- ④手すりの設置角度・取付け済のブラケットに合わせ、フレキシブルジョイントを動かして位置を合わせます。(カップ部分のマの方向に動きます。)



▲注意

- 手すり丸型を、フレキシブルジョイントⅢ型の奥まで差込んで固定してください。
- 手すり丸型には、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

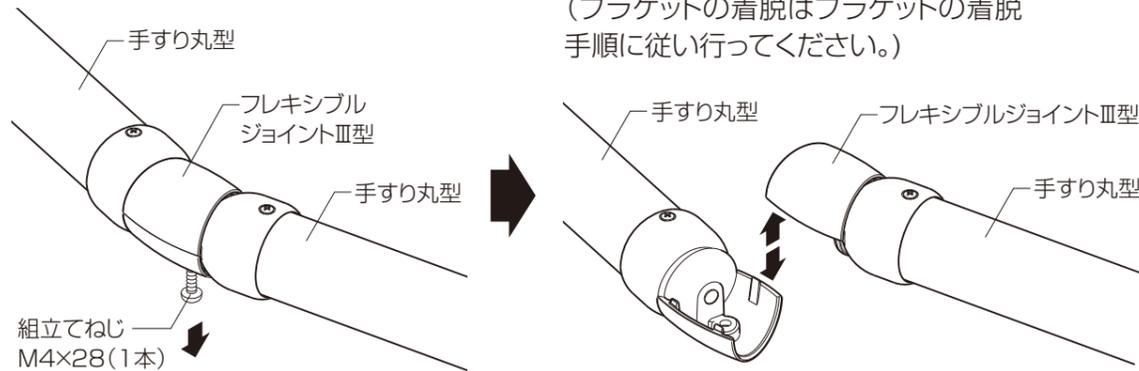
▲注意

●フレキシブルジョイントⅢ型の端部より60mm以内の位置にブラケットを取付け、さらにブラケットから900mm以内の位置にもう一つ、ブラケットを取付けてください。

4 フレキシブルジョイントⅢ型の着脱

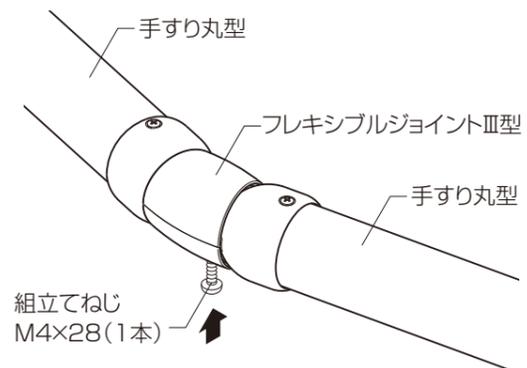
■取外し方法

- ①フレキシブルジョイントの真ん中の部材の組立てねじをゆるめます。
- ②各ブラケットの着脱手順に従い、手すり全体を手前に引いてください。(ブラケットの着脱はブラケットの着脱手順に従い行ってください。)



■取付け方法

- ①フレキシブルジョイントの真ん中の部材をはめ合わせ、組立てねじで締付けます。
※必ずドライバーで組立てねじを締めてください。

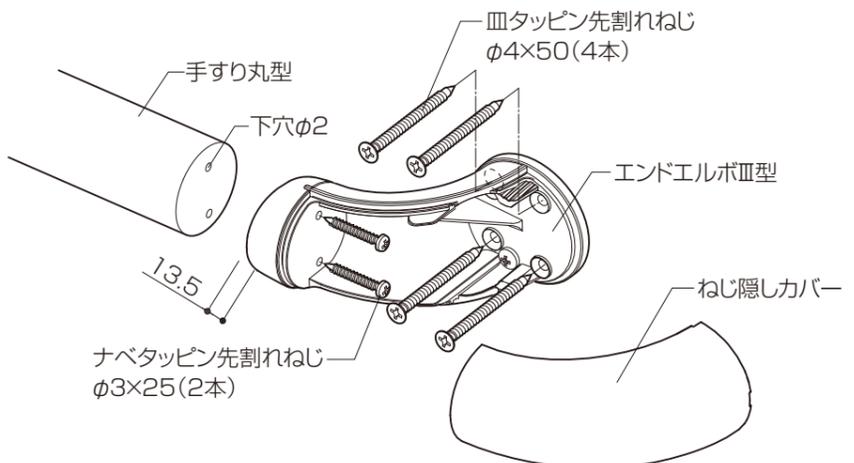


5 エンドエルボⅢ型の取付け

- ①エンドエルボの差込み口に手すり丸型が13.5mm入るのを見込んで、手すり丸型を切断します。
- ②エンドエルボに手すり丸型を差込み、手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけ、同梱のナベタッピン先割れねじφ3×25(2本)で固定します。
- ③同梱の皿タッピン先割れねじφ4×50(4本)でエンドエルボを壁に固定します。
- ④ねじ隠しカバーをエンドエルボ本体にはめ込みます。

▲注意

- 手すり丸型を、エンドエルボⅢ型の奥まで差込んで固定してください。
- 手すり丸型には、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

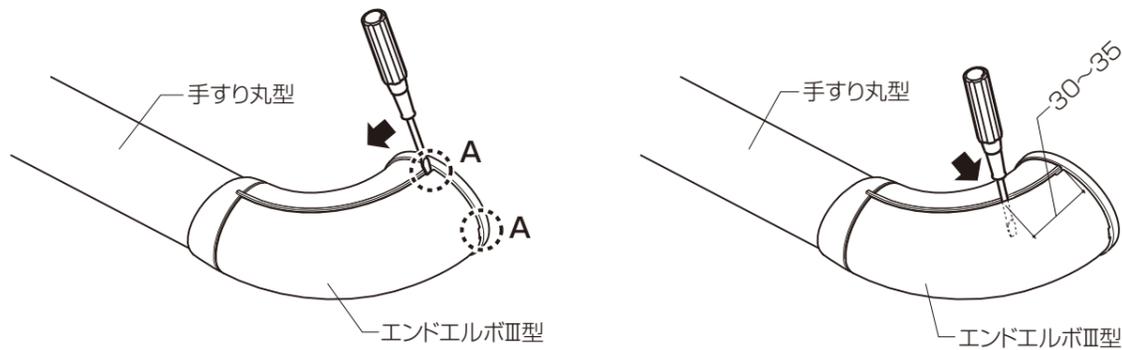


6 エンドエルボⅢ型の着脱

■取外し方法

①ねじ隠しカバーを取外します。

※下図Aの凹部にマイナスドライバー1mmほどを差込み、ひねってすき間をつくり、マイナスドライバーを30~35mm動かし、すき間の中に10mmほど差込んでカバー側に倒すと外せます。



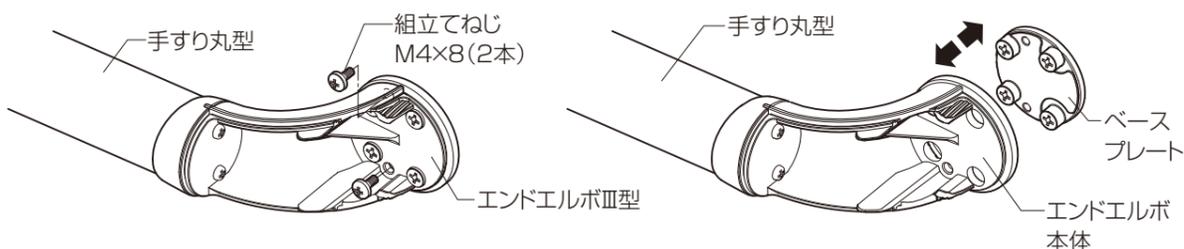
②組立てねじをドライバーで取外します。

③各ブラケットの着脱手順に従い、手すり丸型を手前に引いてください。

クロス張り後、ベースプレートに合わせ、エンドエルボ本体をはめこみます。

※壁にクロスを張る際、ベースプレートを目安にクロスに切れ目を入れ、ベースプレート部分のクロスを切取ります。

※ベースプレートの周囲2~3mmは、エンドエルボ本体で隠れます。

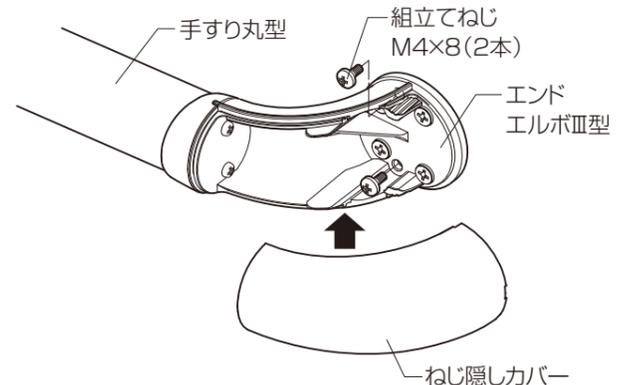


■取付け方法

①組立てねじでベースプレートに、エンドエルボ本体を固定します。

※必ずドライバーで、組立てねじを締めてください。

②ねじ隠しカバーを、エンドエルボ本体に取付けます。



7 接続金具Ⅲ型の取付け

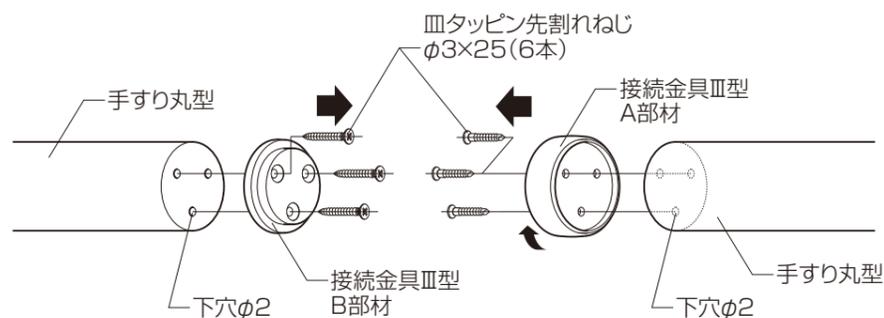
①接続金具の差込み口に手すり丸型が3mm入ることを見込んで、手すり丸型を切断します。

②手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけます。

③接続金具のA部材・B部材と手すり丸型を、同梱の皿タッピン先割れねじφ3×25(A部材・B部材各3本)で固定します。

④B部材にA部材をはめ、矢印の方向にA部材を回して固定します。

※接続金具A部材と接続金具B部材は、ゆるみ・ぐらつきのないようにしてください。



▲注意

●接続金具Ⅲ型を直線部に使用する場合は、ブラケット間隔900mm以内に1個を、ブラケットより60mm以内に取付けてください。

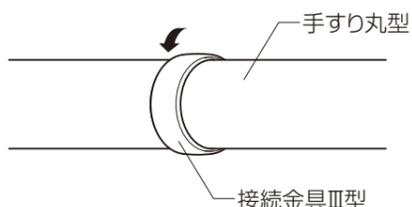
●手すり丸型を、接続金具Ⅲ型の奥まで差込んで固定してください。
●手すり丸型・曲線部材には、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

8 接続金具Ⅲ型の着脱

■取外し方法

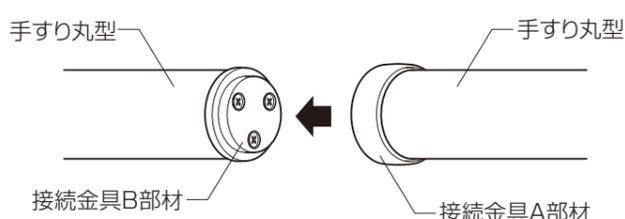
①接続金具A部材を、矢印の方向に回転させます。

②接続金具A部材と、接続金具B部材を分離させます。



■取付け方法

7④と同じ要領で固定します。



9 90°コーナーブラケットⅢ型の取付け

①90°コーナーブラケットの差込み口に手すり丸型が10mm入ることを見込んで、手すり丸型を切断します。

②90°コーナーブラケットに手すり丸型を差込み、手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけ、同梱のナベタッピン先割れねじφ3×25(4本)で固定します。

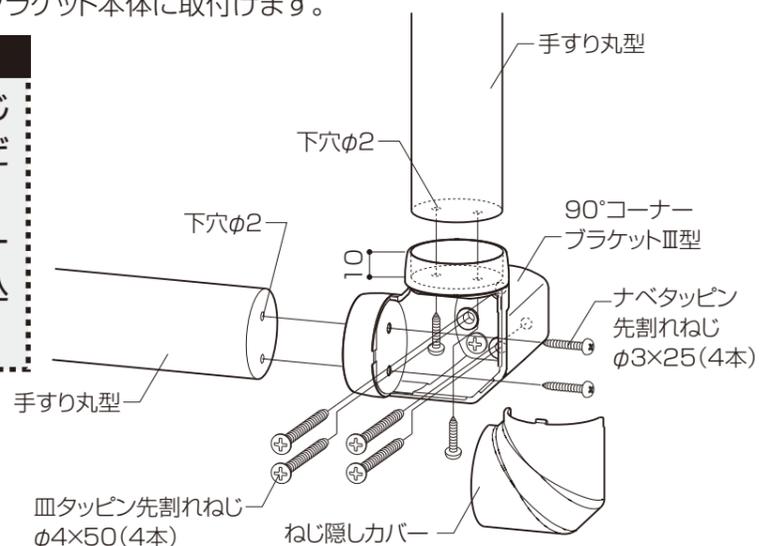
③同梱の皿タッピン先割れねじφ4×50(4本)で、90°コーナーブラケットを壁に固定します。

④ねじ隠しカバーを、90°コーナーブラケット本体に取付けます。

▲注意

●手すり丸型には、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

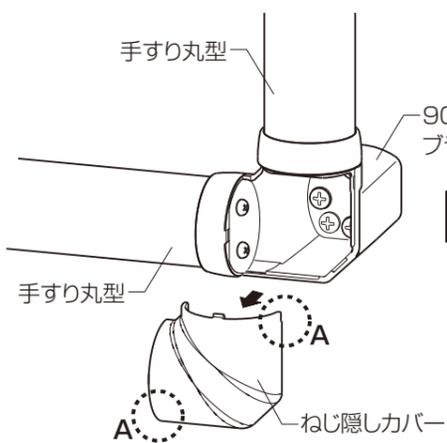
●手すり丸型を、90°コーナーブラケットⅢ型の奥まで差込んで固定してください。



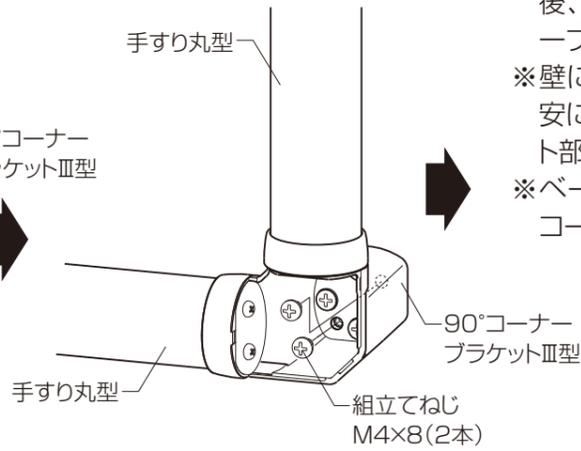
10 90°コーナーブラケットⅢ型の着脱

■取外し方法

①ねじ隠しカバーを取外します。
※下図Aの凹部にマイナスドライバーを差し込み、ひねると容易に外せます。



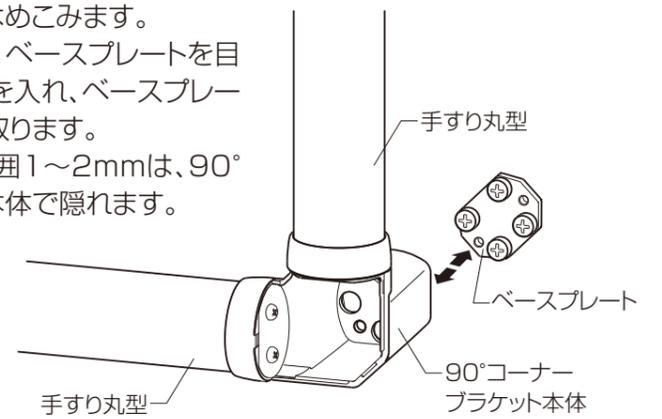
②組立てねじをドライバーで取外します。



③各ブラケットの着脱手順に従い、手すり全体を手前に引いてください。クロス張り後、ベースプレートに合わせ、90°コーナーブラケット本体をはめこみます。

※壁にクロスを張る際、ベースプレートを目安にクロスに切れ目を入れ、ベースプレート部分のクロスを切り取ります。

※ベースプレートの周囲1~2mmは、90°コーナーブラケット本体で隠れます。

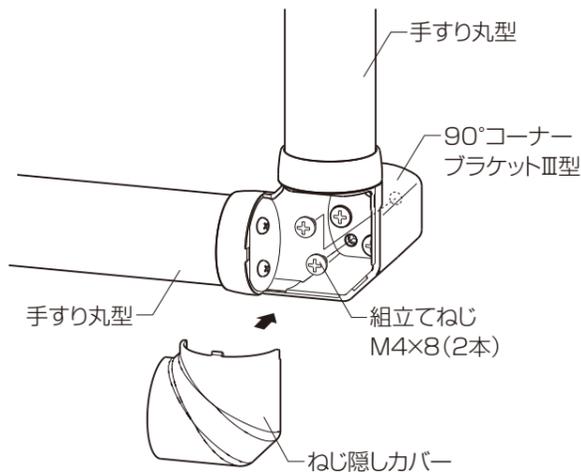


■取付け方法

①組立てねじでベースプレートに、90°コーナーブラケット本体を固定します。

※必ずドライバーで、組立てねじを締めてください。

②ねじ隠しカバーを、90°コーナーブラケット本体に取付けます。



11 エンドベースⅢ型の取付け

①手すり端部の納まり寸法に合わせ、手すり丸型を切断します。(「■エンドベースⅢ型納まり寸法」参照)

②ねじ隠しカバーを手すり丸型に差し込みます。

③手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけ、同梱のバインドタッピンねじφ3×20(2本)で固定します。

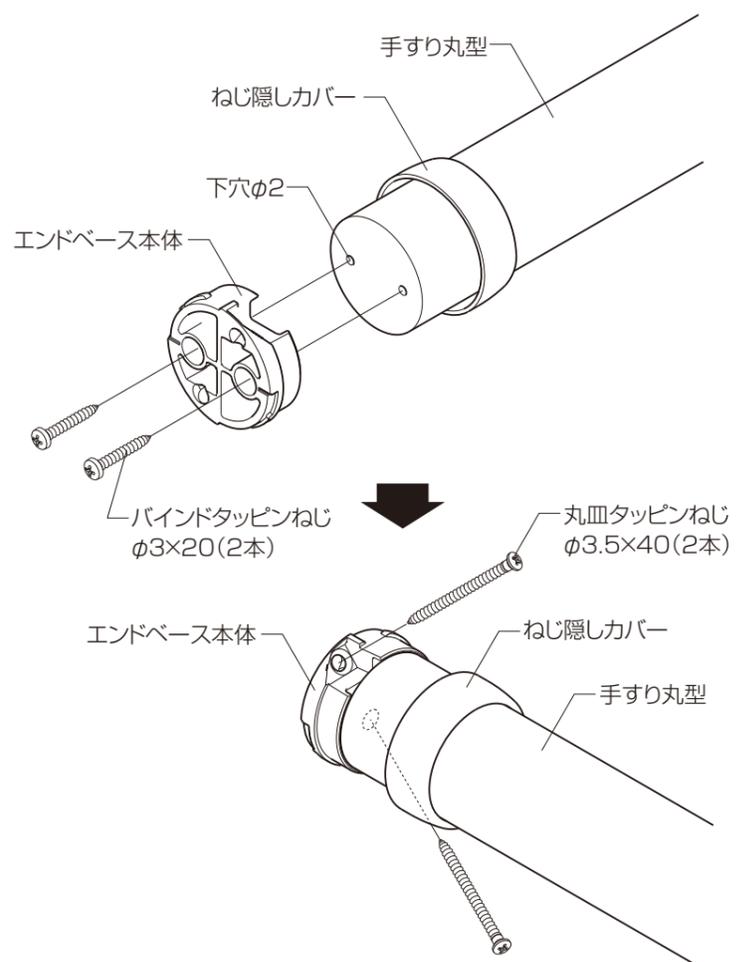
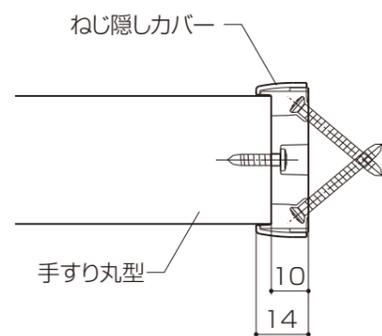
④同梱の丸皿タッピンねじφ3.5×40(2本)で、エンドベースを壁に固定します。

⑤ねじ隠しカバーをエンドベース本体に取付けます。(ねじ隠しカバーをエンドベース本体に差し込み、右に回転させて固定します。)

※手すり丸型をエンドベースに固定する際、エンドベースの壁固定用の穴位置が上下になることを確認してから固定してください。固定穴が上下でない場合は壁固定ができません。

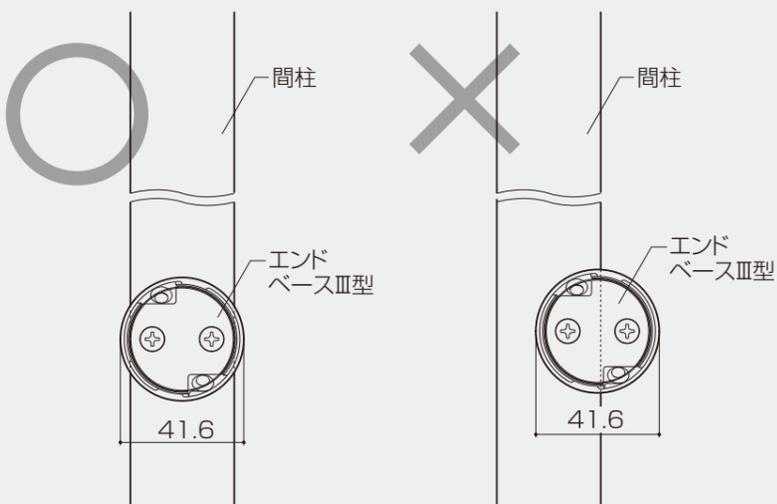
※エンドベースには着脱機能はありません。エンドベースを取外す際は、壁固定のねじ(丸皿タッピンねじφ3.5×40(2本))を外します。

■エンドベースⅢ型納まり寸法



▲注意

●エンドベースは、柱・間柱などの構造材に取付けてください。

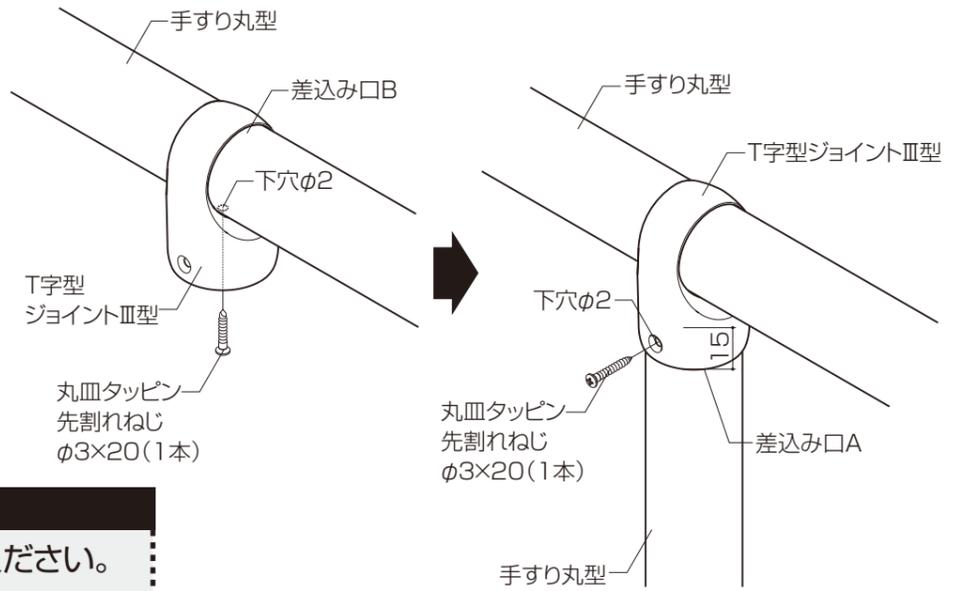


●手すり丸型・曲線部材を、エンドベースⅢ型の奥まで差し込んで固定してください。

●手すり丸型・曲線部材には、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

⑫T字型ジョイントⅢ型の取付け

- ①T字型ジョイントの差込み口Aに、手すり丸型が15mm入ることを見込んで手すり丸型を切断します。
 - ②T字型ジョイントの差込み口Bに手すり丸型を通し、手すり丸型の取付け位置を決めた後、手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけ、同梱の丸皿タッピン先割れねじφ3×20(1本)で固定します。
 - ③T字型ジョイントの差込み口Aに手すり丸型を差込み、下穴(φ2mm)をあけ、同梱の丸皿タッピン先割れねじφ3×20(1本)で固定します。
- ※T字型ジョイントⅢ型には着脱機能はありません。T字型ジョイントⅢ型を取外す際は、手すり丸型固定ねじ(丸皿タッピン先割れねじφ3×20(2本))を外します。
- ※あらかじめT字型ジョイントⅢ型と手すり丸型を固定してから、壁固定を行ってください。壁固定後はT字型ジョイントⅢ型の取付けができません。

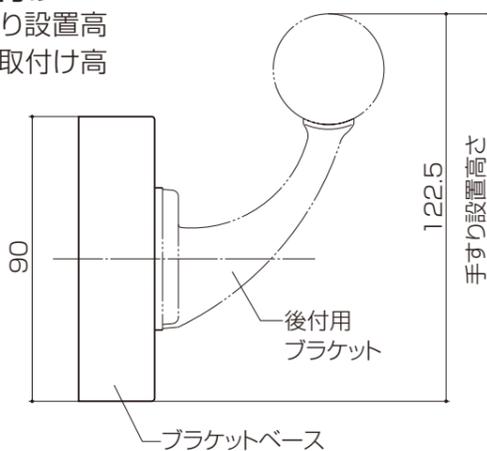


▲注意

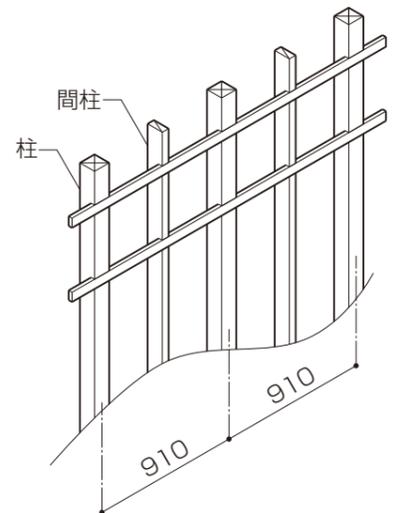
- 手すり丸型を、T字型ジョイントⅢ型の奥まで差込んで固定してください。
- 手すり丸型には、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

⑬ブラケットベースの取付け

- ①右図の寸法をもとに、手すり設置高さからブラケットベースの取付け高さを決めます。



- ②柱・間柱などの構造材の位置を確認します。
- ※市販の壁裏センサーなどで確認してください。

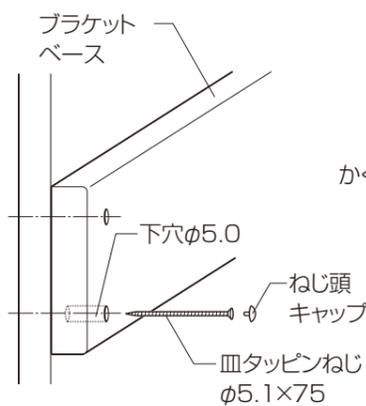


- ③①②から、ブラケットベースの取付け位置を決めます。
- ④ブラケットベースに下穴(φ5mm)をあけ、同梱の皿タッピンねじφ5.1×75でブラケットベースを構造材に固定します。
- ⑤ねじ頭キャップをはめこみます。
- ⑥専用小口材に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、かくし釘で取付けます。

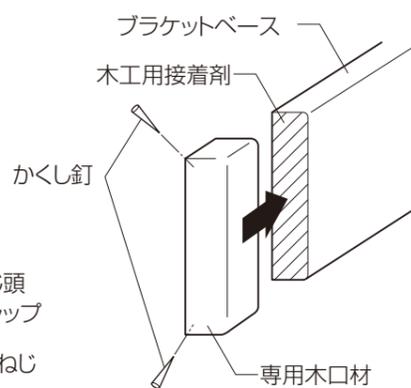
▲注意

- ブラケットベースは柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- ブラケットベースには、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

■ブラケットベースの取付け

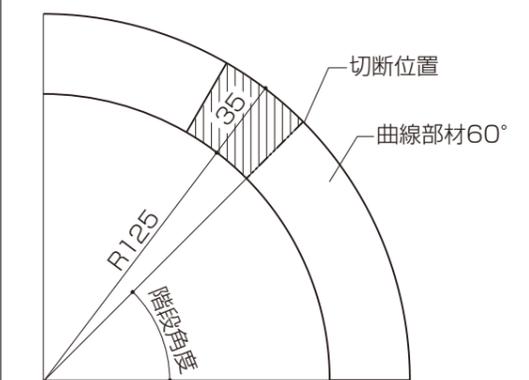


■小口材の取付け



■曲線部材切断位置

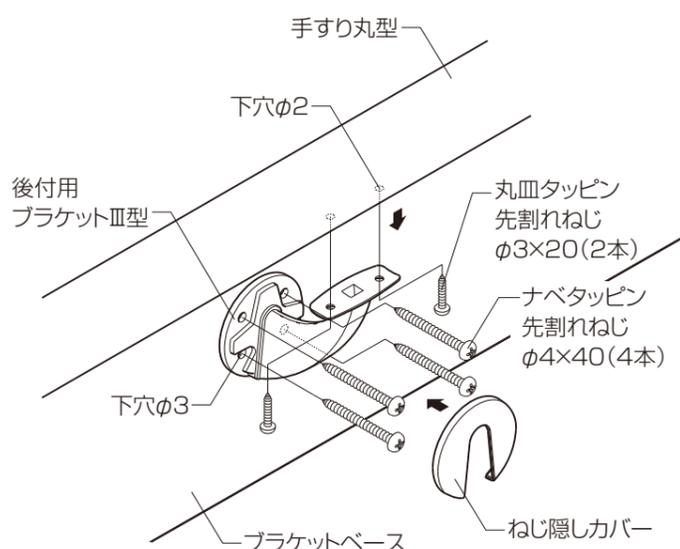
※階段角度=曲線部材角度



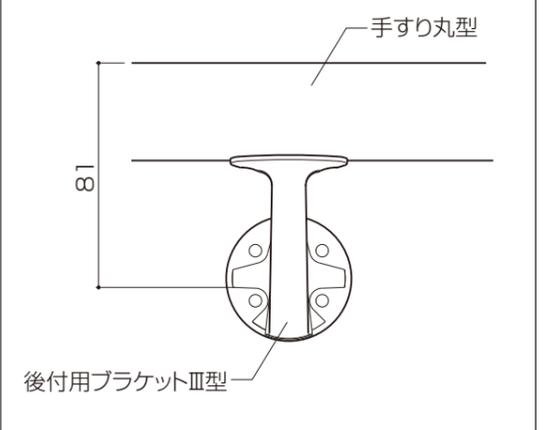
⑭後付用ブラケットⅢ型・後付用エンドブラケットⅢ型の取付け

■後付用ブラケットⅢ型の取付け

- ①実際の使用に合わせ、手すりの設置高さを決めます。
- ②手すり設置高さより、ブラケットの高さを決めます。
- ③下地材・接続部材・曲線部材・手すり丸型長さより、ブラケットの横位置を決めます。
- ④取付け位置を決め、ブラケットベースに下穴(φ3mm)をあけ、同梱のナベタッピン先割れねじφ4×40(4本)で固定します。
- ⑤後付用ブラケットの手すり丸型取付け穴に合わせて、手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけ、同梱の丸皿タッピン先割れねじφ3×20(2本)で手すり丸型を後付用ブラケット本体に固定します。
- ⑥ねじ隠しカバーを後付用ブラケット本体にはめこみます。

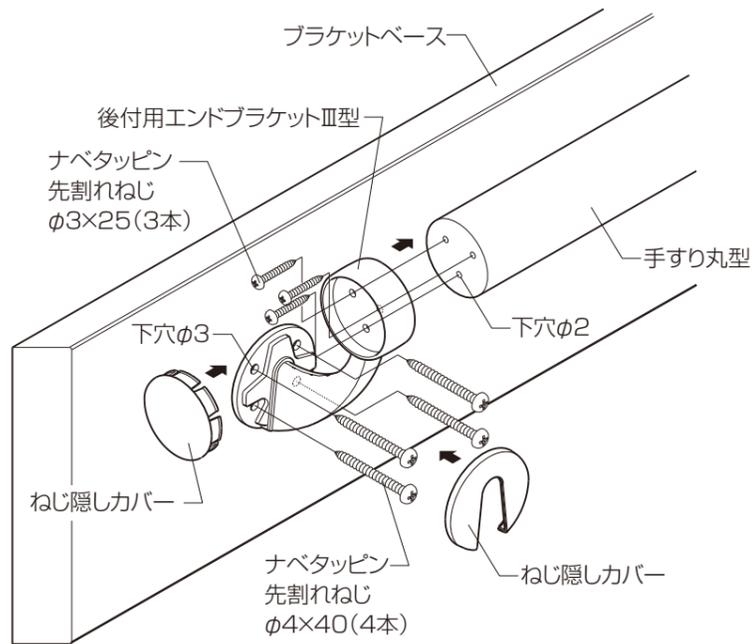


■取付け詳細図

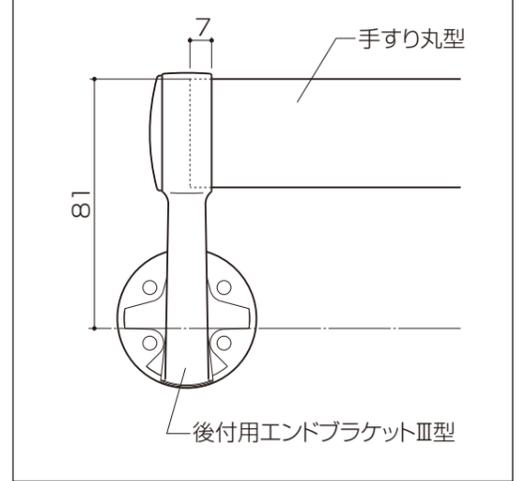


■後付用エンドブラケットⅢ型の取付け

- ①実際の使用に合わせ、手すりの設置高さを決めます。
- ②手すり設置高さより、ブラケットの高さを決めます。
- ③下地材・接続部材・曲線部材・手すり丸型長さより、ブラケットの横位置を決めます。
- ④後付用エンドブラケットの差込み口に、手すり丸型が7mm入ることを見込んで手すり丸型を切断します。
- ⑤取付け位置を決め、ブラケットベースに下穴(φ3mm)をあけ、同梱のナベタッピン先割れねじφ3×25(3本)で固定します。
- ⑥後付用エンドブラケットに手すり丸型を差込み、手すり丸型に下穴(φ2mm)をあけ、同梱のナベタッピン先割れねじφ3×25(3本)で固定します。
- ⑦ねじ隠しカバー(2種類)を後付用ブラケット本体にはめこみます。

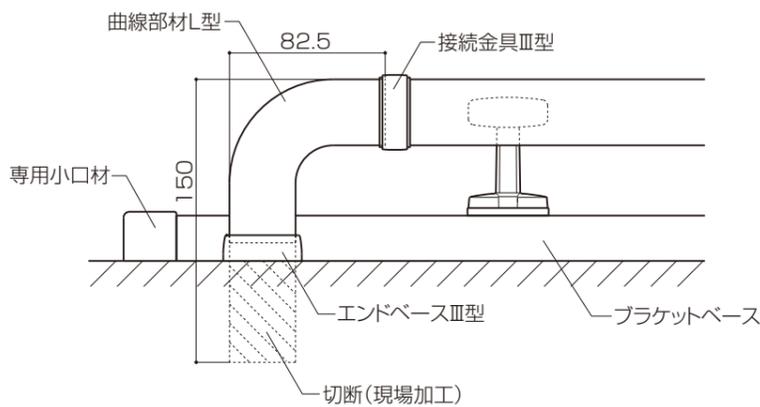


■取付け詳細図



※後付用エンドブラケットⅢ型・後付用ブラケットⅢ型には着脱機能はありません。

- ※手すり丸型の端部を曲線部材L型で納める場合は、エンドベースⅢ型を使用し、曲線部材L型の長い方をエンドベースⅢ型に取付けてください。
- ※間柱のサイズによっては、エンドベースⅢ型のねじが2個所止められないことがあります。必ず柱のある場所に取付けてください。

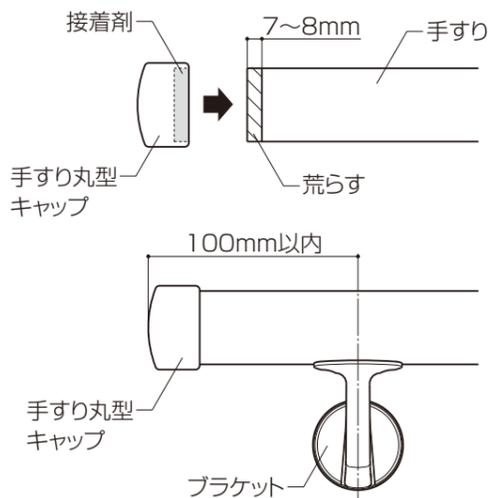


▲注意

- 手すり丸型を、後付用エンドブラケットⅢ型の奥まで差込んで固定してください。
- 手すり丸型・ブラケットベースには、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

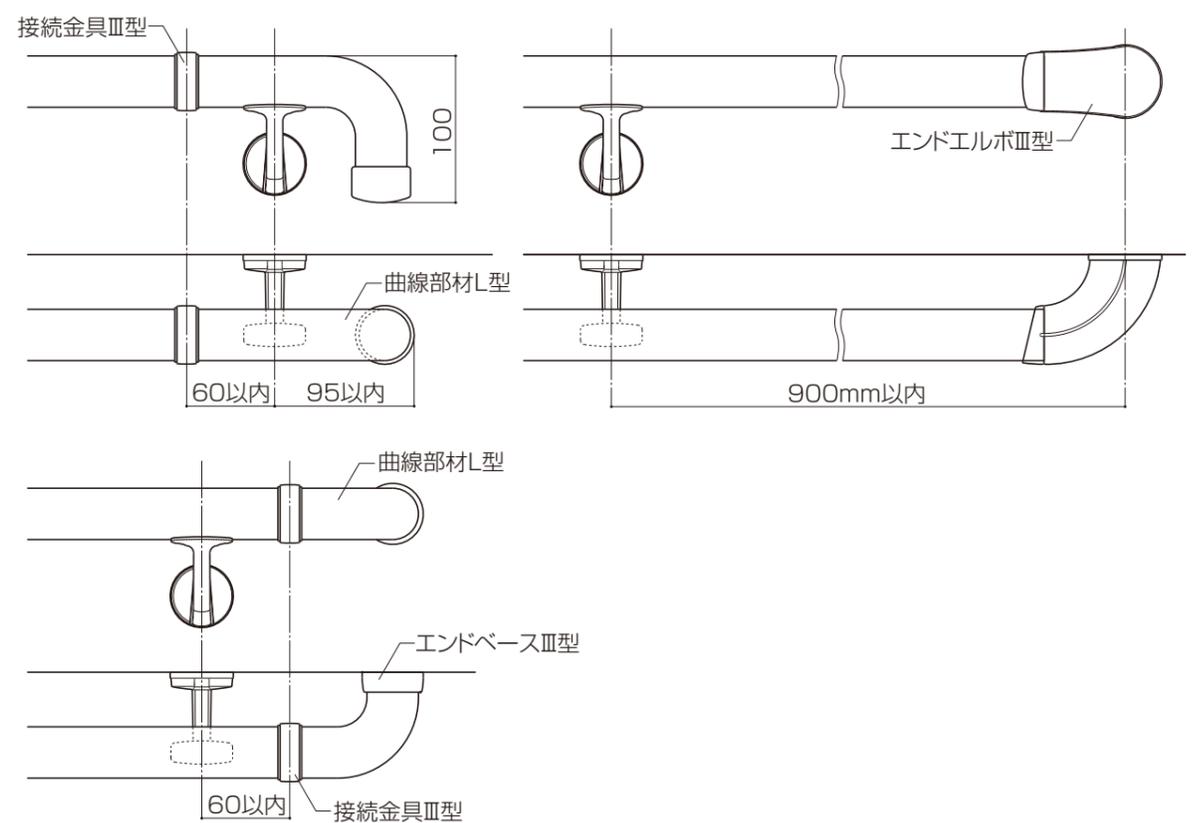
■手すり丸型キャップの取付け

- ①手すり丸型の切断面が垂直であることを確認します。
※接着不良防止のため、必ず垂直にしてください。
- ②手すり丸型キャップ取付け部の手すり表面を7~8mm荒らします。
- ③手すり丸型キャップの内側に、接着剤(木工用・現場手配)を塗布します。
- ④手すり丸型キャップを手すり丸型にはめこみ、接着剤が固まるまで待ちます。
※ブラケット中心より100mm以内に端部がくるよう取付けてください。
※端部納まり例のいずれかに従ってください。



■端部納まり例

※下記寸法を厳守してください。



■施工後の確認

- 取付け完了後、取付けねじのゆるみがないか確認してください。
- 取付け完了後、手すりをゆすってガタツキのないことを確認してください。